

ホク口・イボ・角化除去治療とは

CO2レーザーで、ホク口、イボ、角化を除去します。小さいものが適応となり、切除、縫合などが不要です。

必要時、治療部位に局所麻酔を注射します。細い針を使用しての注射ですが、注入時に少ししみるような痛みを伴います。

麻酔が効くと痛みは感じなくなりますが触れられたり押されたりする感覚は残ります。

1. くぼみ：切除後、治療部位はすこしくぼんだようになりますが、1～2か月かけて徐々に平らになります。削る程度にもよりますが、くぼみが残る場合もございます。

2. 赤み：平坦になったあと赤みが残りますが3～6か月かけて徐々に落ち着きます。体ではまれに1年以上かかる場合もございます。

3. 白い傷跡：日焼けした肌や褐色調の部位は、やや白い色として残ることがあります。

4. 色素沈着：赤みがある間は肌がダメージを受けやすい状態なので、通常の日差しでも色素沈着してしまうことがあります。外出の際は、日焼け止めクリームをしっかり塗ってください。

5. 再発：ホク口はできる限りすべて深く焼灼しますが、ホク口の深さの関係から1回の治療では取り切れないことがあります。また、再発する可能性があります。その際は、3～6か月後以降に再度電気メスで切除することができます。

6. 悪性腫瘍（皮膚がん）：一見ホク口でも、実際は皮膚がんであることがまれにあります。診療だけでは断定することができませんので病理検査などで正確な診断をご希望の方は保険治療での切除をお勧め致します。

7. 肥厚性瘢痕・ケロイド：体質または部位によって（口周り、肩、前胸部、関節の伸側、下腹部など）、みみずばれの様に硬く赤く盛り上がる場合があります。予防の為にテーピングを行ったり、症状出現後にステロイド注射やテープ治療を行うことができます。（治療費が別途かかります。）

8. 経過観察をする目的で施術部位の写真を撮らせていただきます。撮影させていただいた写真に関しては、厳重に保管し患者様との経過観察以外で無断使用することはありませんのでご安心ください。

★授乳中の方は、術後48時間は断乳して頂きますようお願い致します。

以上は一般的な留意事項であり、症状等は個人差が生じる旨、ご理解いただけますようお願いいたします。